



seer

安全データシート

Sample Dilution Buffer

JIS Z 7253 : 2019に準拠
作成日: 2025/07/08 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Sample Dilution Buffer

製品コード : S55R5030

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : サンプル、希釈

使用上の制限 : 研究目的にのみ使用し、診断目的にも治療目的にも使用しないこと。

会社情報

仕入先

Seer Inc

94065

CARedwood City3800 Bridge Parkway

T 1-833-254-7337

support@seer.bio

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号

: 流出、漏れ、火災、暴露、事故に関する 24
時間年中無休の多言語アドバイスについては、CHEMTREC までお電話ください 0800-
300-5842 (市内通話、フリーダイヤル、日本語) そして提供します CCN 996824
Back-up Emergency Number: +65 3163 8374 (シンガポール、多言語) +1-703-527-3887
(アメリカ英語のみ)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	分類できない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過氧化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない

安全データシート

Sample Dilution Buffer

JIS Z 7253 : 2019に準拠

皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
EDTA二ナトリウム	1-3	C10H16N2O8Na2	(2)-1265	2-(4)-113	139-33-3

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 救助者は自身の安全確保に注意する！。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
必要に応じて人工呼吸を行う。
一方向弁または他の適切な装置を取り付けたマスクを用いて人工呼吸をします。ただし、口対口はしないでください。
気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸器系疾患を発症した場合:毒物センターまたは医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服は脱衣し、ばく露した皮膚は、まずマイルドソープと水で洗い、その後ぬるま湯ですすぐ。
皮膚刺激または発しん (疹) が生じた場合 : 医師の診断 / 手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合 : 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合 : 医師の診断 / 手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
嘔吐した場合は、嘔吐物が肺に入らないように頭を低く保つ必要があります。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 応急措置をする者の保護 : 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : 通常の使用条件下では、重大な吸入の危険有害性はないと思われる。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 通常の使用条件下では、皮膚に対する重大な危険有害性はないと思われる。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 通常の使用条件下では、眼に入った場合の危険有害性は特にないと思われる。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の使用条件下では、飲み込んだ場合の危険有害性は特にないと思われる。

安全データシート

Sample Dilution Buffer

JIS Z 7253 : 2019に準拠

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末化学消火剤、炭酸ガス、スプレー水または通常の泡消火剤
使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
火災危険性 : 火災の危険は一切ない。
爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある、
二酸化炭素、
一酸化炭素、
酸化窒素
消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
それは個人的な危険でなければ、火災現場から容器を移動します。
水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。
消火に使用した水が環境中に流出しないようにする。
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 吸い込むことを含め、あらゆる個人的接触を避けてくださいミスト、スプレー、蒸気。
個人的な危険を伴う行為は行わないでください。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置 : 危険エリアから避難させる。

屋外にいる場合は、危険エリアの風上に移動してください。
皮膚、眼との接触を避ける。
個人的な危険を冒さないことが可能であれば、あらゆる発火源を取り除く。
漏出エリアを換気する。
非緊急時要員の危険区域への立ち入りを禁止すること。

緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用してください。
適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置 : 不要な職員を退避させる。
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
流去水が排水管、下水道、水路のいずれにも侵入しないようにすること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

安全データシート

Sample Dilution Buffer

JIS Z 7253 : 2019に準拠

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

- ： 不燃性の不活性吸収剤を使用して封じ込めること。
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。

浄化方法

- ： 不燃性の不活性吸収剤に吸収し、廃棄用の容器に入れること。
汚染された吸収物質は、こぼれた製品と同じ危険がある可能性がある。
水および洗剤で表面や機器を汚染除去すること。
十分な希釈レベルが達成されるまで、除染水は製品と同じ危険性を引き起こす可能性がある。

その他の情報

- ： 収集した物質は、該当する地域/地域/国/国際規制に従い、できるだけ早く廃棄すること。
物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ： データなし

安全取扱注意事項

- ： 個人用保護具を着用する。
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
皮膚、眼、あるいは衣服との接触を避ける。
ミスト、スプレー、蒸気の吸入を避けること。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

接触回避

- ： データなし

衛生対策

- ： 製品取扱い後には必ず手を洗う。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
： 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

処理時の追加危険有害性

保管

安全な保管条件

- ： 不適合な物質から離れた、涼しい、乾燥した、十分な換気がされた場所に保管してください。

安全な容器包装材料

- ： データなし

技術的対策

- ： 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

混触禁止製品

- ： 強力な酸化剤。

容器包装材料

- ： 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ： 作業所の十分な換気を確保する。
産業衛生および安全手順に従って処理する。
ばく露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の目をすすぐ器具と安全用のシャワーが設置されなければなりません。

保護具

個人用保護具

- ： 個人用保護具は、国の基準に従って、保護具の供給者と協議の上、選択する必要がある、推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具

- ： 換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- ： 保護手袋を着用すること

眼の保護具

- ： 安全眼鏡を着用し飛沫が眼に入るのを防ぐ。

皮膚及び身体の保護具

- ： 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視

- ： 環境への放出を避けること。
大気への排出、土壌および水生環境への放出を削減または制限するための対策を講じること。

安全データシート

Sample Dilution Buffer

JIS Z 7253 : 2019に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 透明色
色	: 無色
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 混触禁止物質。
混触危険物質	: 強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。熱分解により次のものを生成する：二酸化炭素。一酸化炭素。酸化窒素。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

EDTA二ナトリウム (139-33-3)

LD50 経口 ラット	2800 mg/kg BW
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない

安全データシート

Sample Dilution Buffer

JIS Z 7253 : 2019に準拠

EDTA二ナトリウム (139-33-3)

LOAEC (吸入、ラット、粉じん/ミスト/煙、90日)	0.015 mg/l air
NOAEL (経口、ラット、90日)	≥ 500 mg/kg BW

誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性)	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分に該当しない

EDTA二ナトリウム (139-33-3)

LC50 - 魚 [1]	> 116 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	> 114 mg/l
EC50 72h - 藻類 [1]	> 60 mg/l
LOEC (慢性)	50 mg/l
NOEC (慢性)	25 mg/l
NOEC 魚 慢性	≥ 25.7 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-11.7

残留性・分解性

Sample Dilution Buffer

残留性・分解性 急速分解性でない

EDTA二ナトリウム (139-33-3)

残留性・分解性 急速分解性でない

生体蓄積性

Sample Dilution Buffer

生体蓄積性 データなし

EDTA二ナトリウム (139-33-3)

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) -11.7

土壤中の移動性

Sample Dilution Buffer

土壤中の移動性 データなし

EDTA二ナトリウム (139-33-3)

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) -11.7

安全データシート

Sample Dilution Buffer

JIS Z 7253 : 2019に準拠

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
適用される国内外、あるいは地方の法律・規則全般に通じておく。

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

残余廃棄物 : 環境への放出を避けること。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDG / IMDG / IATAに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
輸送規則の定義上危険物に該当しない。		
国連正式品名		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
輸送危険物分類		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
容器等級		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
環境有害性		
規制されていない	規制されていない	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

海洋汚染防止法 : 有害でない物質 (施行令別表第1の2)

外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16の項

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩 (管理番号 : 595) (2.0%)

安全データシート

Sample Dilution Buffer

JIS Z 7253 : 2019に準拠

16. その他の情報

その他の情報

: 責任の放棄／声明 - Seer,

Inc.はこのSDSの受領者各位に対し、このSDSを入念に検討し、必要に応じて又は状況に応じて専門家に相談して、このSDSに含まれるデータ及び製品に付随するあらゆる危険有害性を認識し、理解することを強くお勧めします。このSDSに含まれる情報は、供給時のままの状態の特定の物質に適用されます。他の何らかの物質と併用した場合、この物質に対して有効でない可能性があります。ここに含まれる情報は誠意をもって提供されるものであり、上記の作成日の時点で正確な情報であると考えられます。このSDSは技術的に信頼性が高いと考えられる情報源から得られた情報を用いて作成されています。製品仕様書として使用することはできません。使用者独自のプロセスに使用する場合又は他の化学物質と併用する場合、明示的か黙示的かを問わず、弊社は使用時の安全性に関して如何なる種類の保証もいたしません。規制要件は変更されることがあり、地域ごとに異なることもあります。使用者の活動を国、都道府県及び現地の法律に確実に準拠させることは使用者の責務です。Seer,

Inc.は、上記製品の取扱い又は接触に起因する損害に対して一切の責任を負わないものとします。

免責条項

当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。